



地域医療構想の進捗等について

令和7年4月23日

沖縄県保健医療介護部 医療政策課

Chapter

1.

現・地域医療構想の進捗

URLのリンク
(クリックすると掲載ページに遷移します)
↓↓

出典資料

掲載元

現・地域医療構想について

1. 病床の必要量の推計

- ◎ 都道府県において2025年の医療需要と「病床の必要量」について医療機能（高度急性期・急性期・回復期・慢性期）ごとに推計

2. 病床機能報告

- ◎ 医療機関より、現在の病床機能と今後の方向性等を「病床機能報告」により報告。

3. 協議

- ◎ 地域医療構想調整会議において、病床の機能分化・連携に向けた協議を実施。

4. 基金の活用

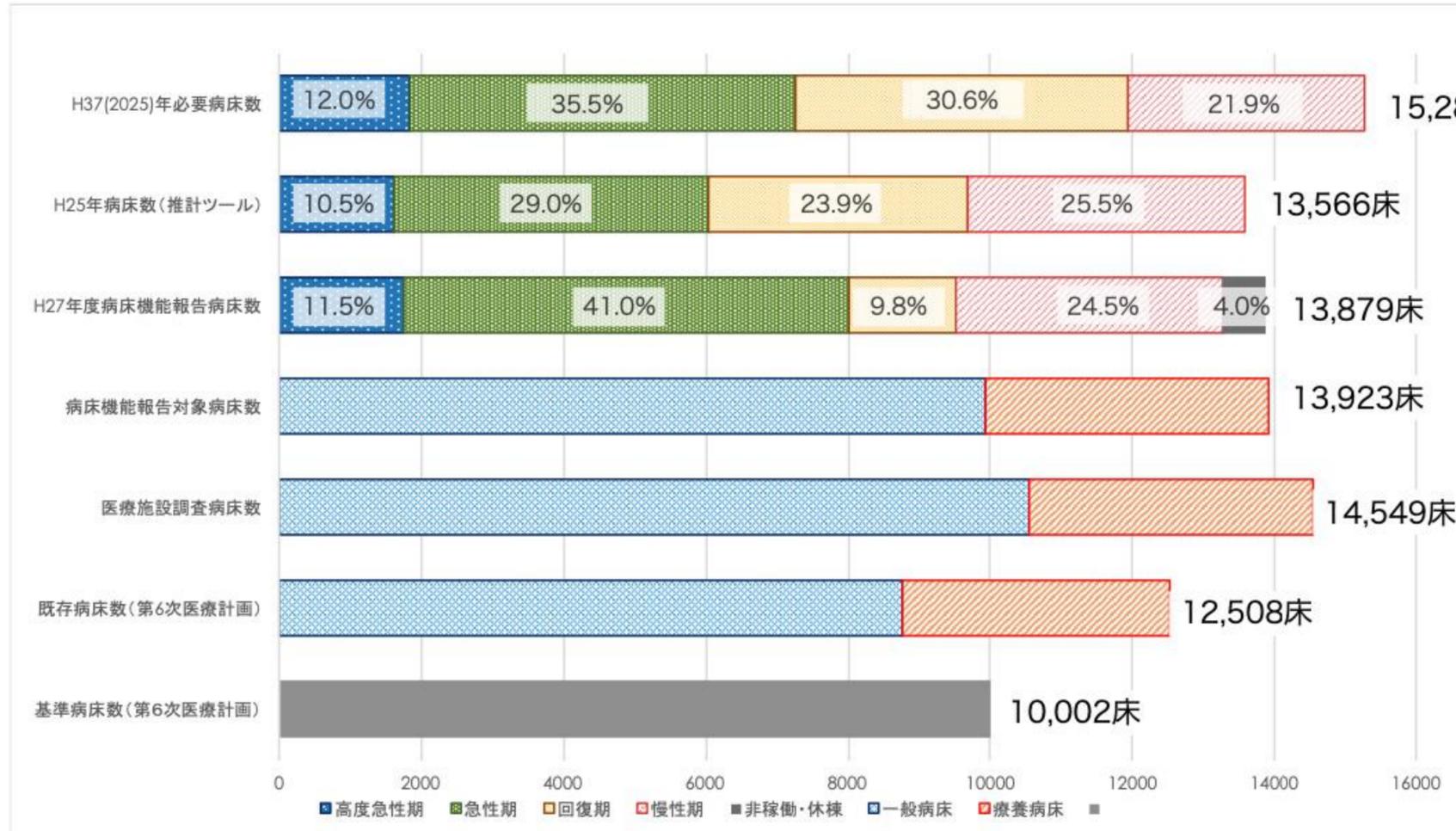
- ◎ 地域医療介護総合確保基金を活用し、医療機関の機能分化・連携を支援。

目的

中長期的な人口構造や地域の医療ニーズの質・量の変化を見据え、医療機能の分化・連携を進め、良質かつ適切な医療を効率的に提供できる体制を確保する。

現・地域医療構想において示された病床の必要量（県）

将来（2025年）における必要病床数と
現在（2015年）の病床数等との比較



沖縄県全体 (単位:床)

区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
H37(2025)年必要病床数	1,831	5,428	4,674	3,348	—	15,282
H25年病床数(推計ツール)	1,601	4,425	3,646	3,894	—	13,566
H27年度病床機能報告	1,758	6,258	1,498	3,747	618	13,879

区分	一般病床	療養病床	—	合計
病床機能報告対象病床	9,927	3,996	—	13,923
医療施設調査	10,553	3,996	—	14,549
既存病床数(第6次医療計画)	8,768	3,740	—	12,508
基準病床数(第6次医療計画)	—	—	—	10,002

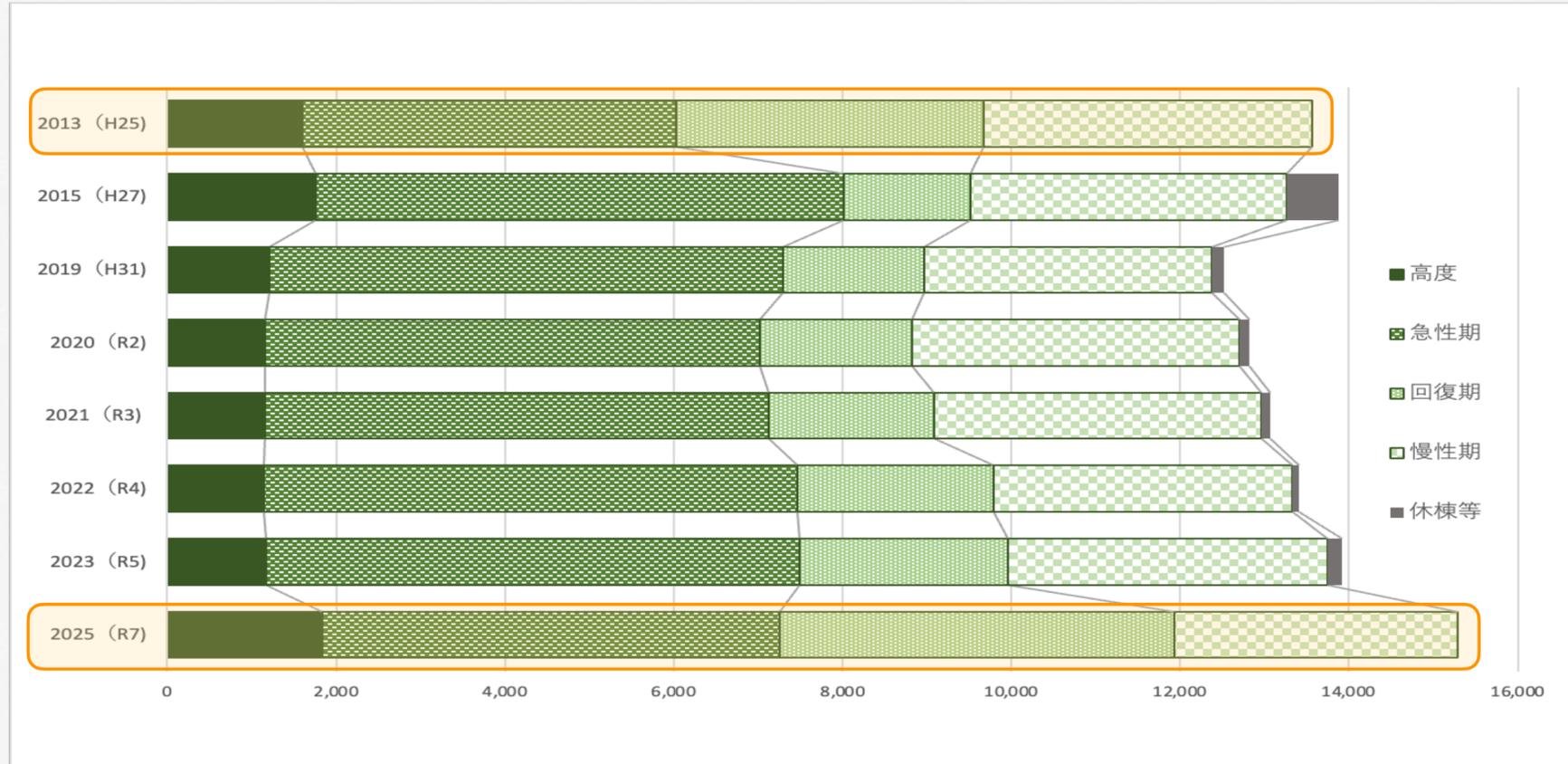
沖縄県地域医療構想（巻末資料）

沖縄県

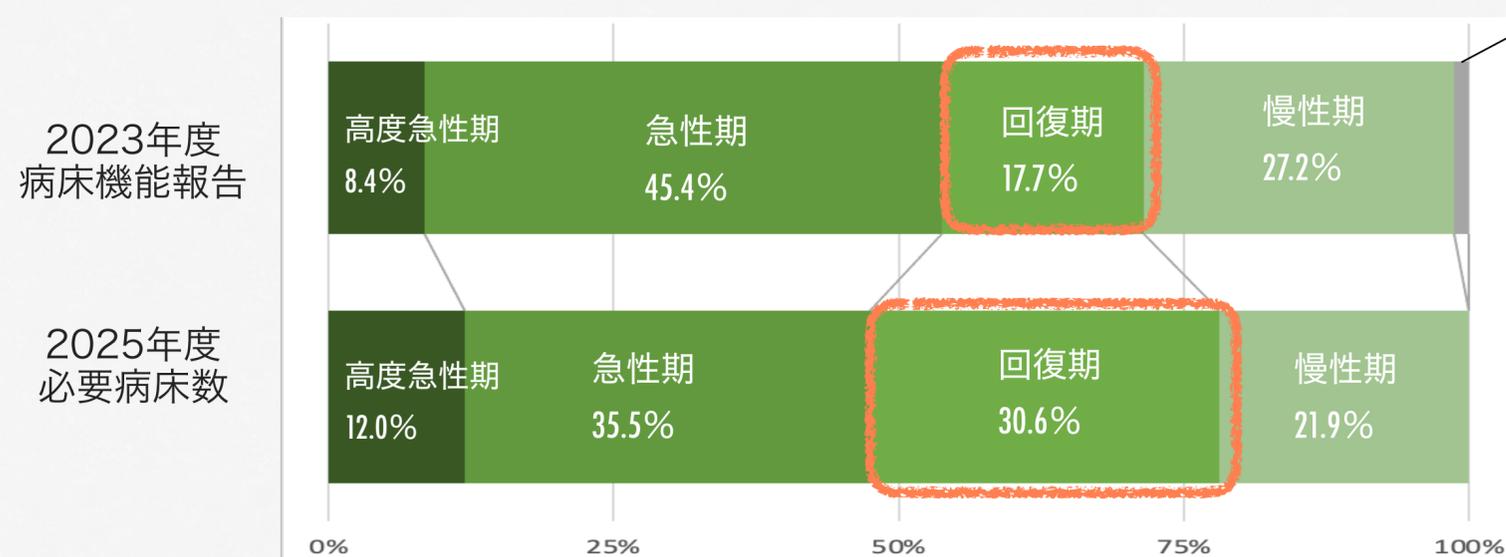
沖縄県における病床機能報告（病床機能分化の状況）

● 病床機能報告と病床数の必要量の比較

区分	年度	高度	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
病床数の必要量	2013 (H25)	1,601	4,425	3,646	3,894		13,566
病床機能報告	2015 (H27)	1,758	6,258	1,498	3,747	618	13,579
病床機能報告	2020 (R2)	1,158	5,971	1,957	3,870	110	13,066
病床機能報告	2021 (R3)	1,166	6,052	2,033	3,737	110	13,098
病床機能報告	2022 (R4)	1,148	6,322	2,322	3,537	75	13,404
病床機能報告	2023 (R5)	1,164	6,326	2,466	3,786	180	13,922
病床数の必要量	2025 (R7)	1,831	5,428	4,674	3,348		15,282



● 病床機能報告(2023年度)と病床数の必要量(2025年度)の割合の比較

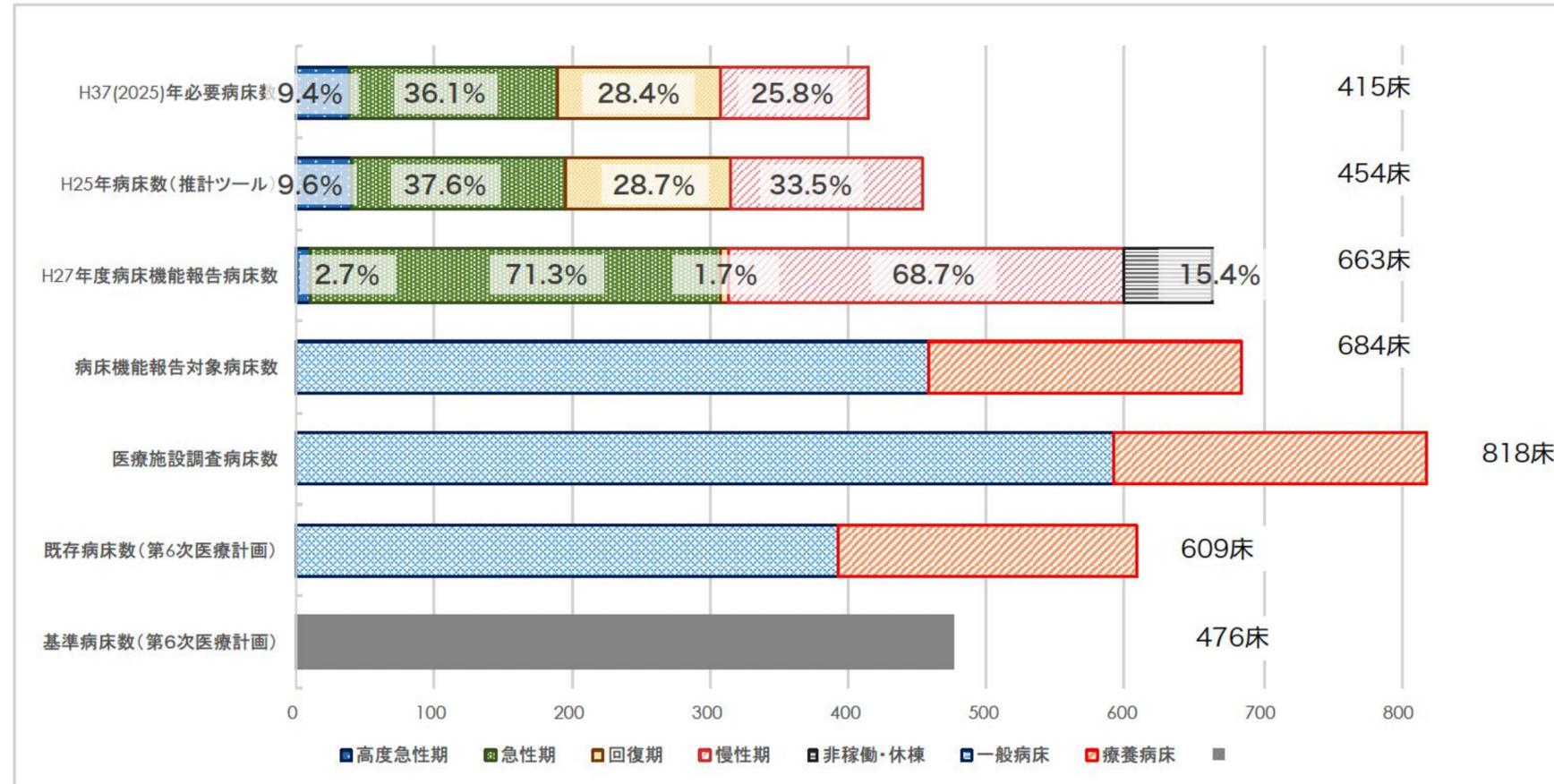


※回復期機能（サブアキュート・ポストアキュート・リハビリ機能）
 1,498床（2015年）→2,466床（2023年）：968床増加
 10.8%（2015年）→ 17.7%（2023年）：6.9%増加

一定程度増えており、地域医療構想の取組は進んでいると考えられるが、目標とする必要病床数には到達していない状況。

現・地域医療構想において示された病床の必要量（宮古圏域）

1. 将来（2025年）における必要病床数と現在の病床数等との比較



将来（2025年）における必要病床数と現在（2015年）の病床数等との比較

宮古圏域

(単位:床)

区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
H37(2025)年必要病床数	39	150	118	107	—	415
H25年病床数(推計ツール)	40	156	119	139	—	454
H27年度病床機能報告病床数	11	296	7	285	64	663

区分	一般病床	療養病床	—	合計
病床機能報告対象病床数	458	226	—	684
医療施設調査病床数	592	226	—	818
既存病床数(第6次医療計画)	393	216	—	609
基準病床数(第6次医療計画)	—	—	—	476

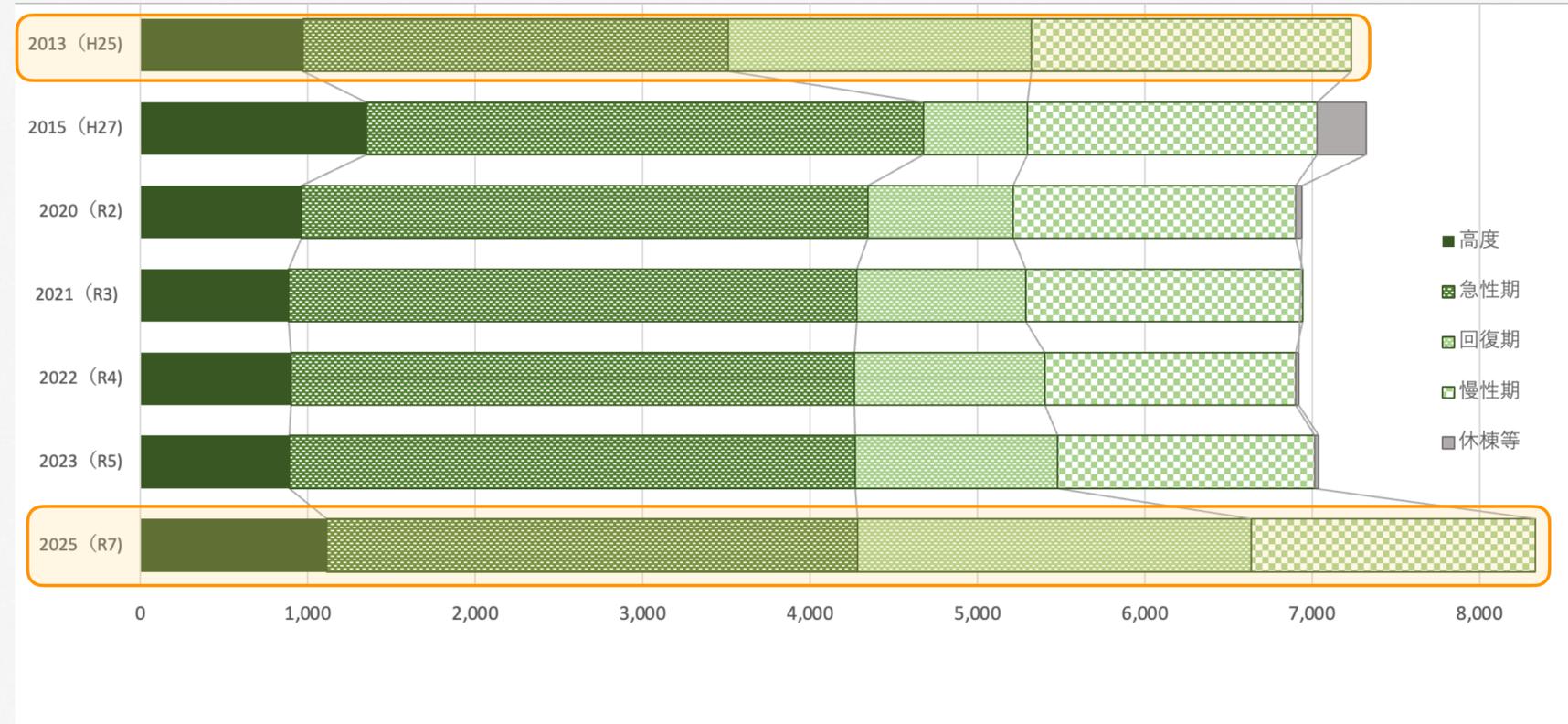
沖縄県地域医療構想（巻末資料）

沖縄県

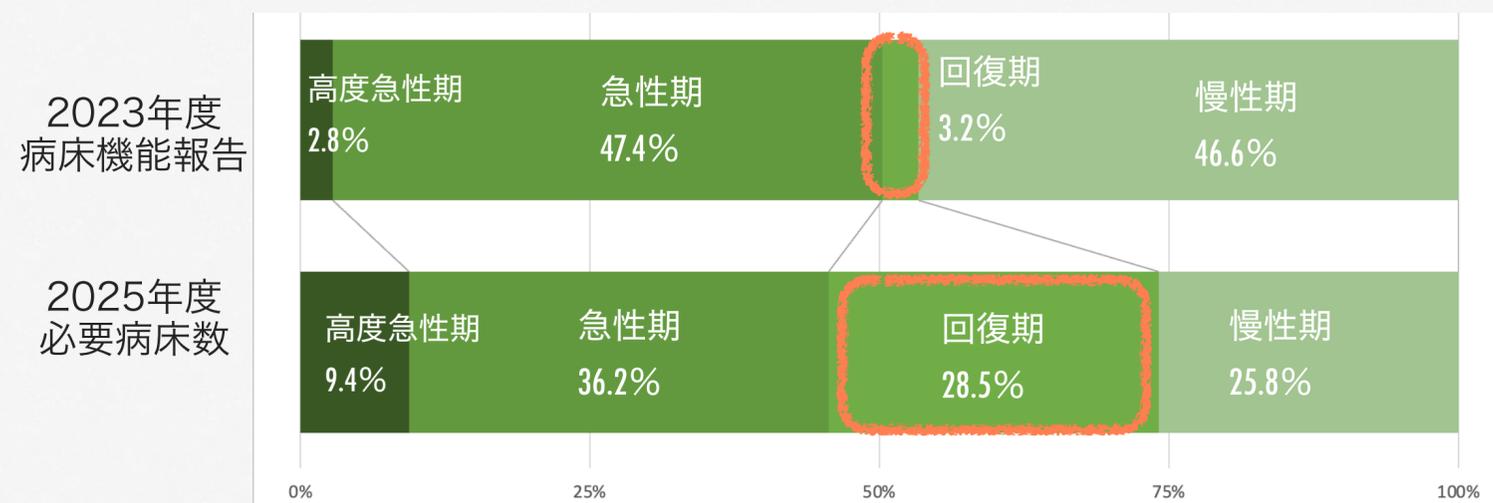
宮古圏域における病床機能報告（病床機能分化の状況）

● 病床機能報告と病床数の必要量の比較

区分	年度	高度	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
病床数の必要量	2013 (H25)	40	156	119	139		454
病床機能報告	2015 (H27)	11	330	19	303		663
病床機能報告	2020 (R2)	17	310	0	350		696
病床機能報告	2021 (R3)	17	310	19	308		654
病床機能報告	2022 (R4)	17	286	19	311		633
病床機能報告	2023 (R5)	17	286	19	281		603
病床数の必要量	2025 (R7)	39	150	118	107		414



● 病床機能報告(2023年度)と病床数の必要量(2025年度)の割合の比較



- 必要病床数を上回る数の病床がある
- (高度急性期+急性期) の合計が必要病床数を回っている。
- 一方で、回復期が大幅な不足となっている。
- 慢性期は必要病床数を上回っている。